

# 電波時計について

## 電波時計とは

正確な時刻およびカレンダー情報をのせた標準電波を受信することにより、自動的に表示時刻を修正し正確な時刻をお知らせする時計です。

## 標準電波とは

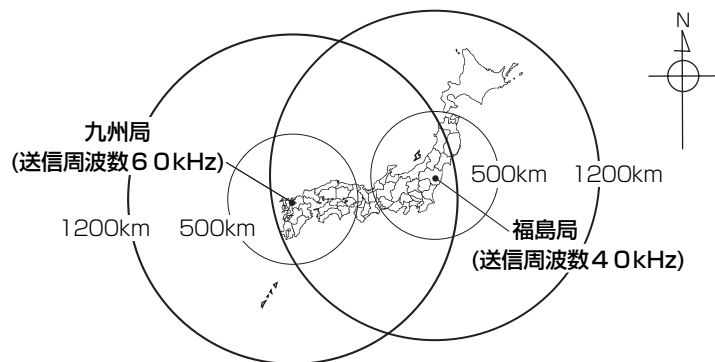
日本標準時をお知らせするために、情報通信研究機構が運用している電波です。

※標準電波の時刻情報は、およそ10万年に1秒の誤差という「セシウム原子時計」によるものです。

標準電波送信所は、福島県の「福島局:おたかどや山標準電波送信所」と佐賀県と福岡県の県境にある「九州局:はがね山標準電波送信所」の2カ所あります。標準電波の詳細については、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。(http://ijy.nict.go.jp)

## 受信可能な範囲

送信所からおおよそ約1200kmの範囲です。ただし、受信範囲であっても電波障害(太陽活動、季節、天候、置き場所、時間帯(昼/夜)あるいは地形や建物の影響など)により、受信できないことがあります。



○この時計は福島局と九州局に対応しており、標準電波を自動選択して受信します。

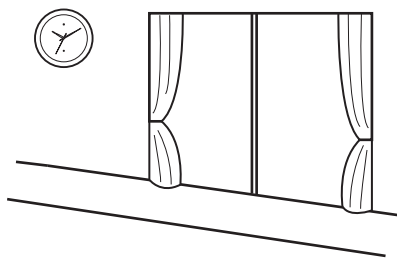
○日本以外の標準電波は受信できません。海外で使用した場合、まれに日本の標準電波を受信して、日本の時刻を表示したり、誤った時刻を表示することがありますので、電波受信機能を停止させてください。「3.電波受信機能のON/OFF操作」参照。

○送信所の定期点検や落雷などにより、標準電波の送信が止まる場合があります。

# ご使用場所について

電波の受信しやすいところでご使用ください。

この時計は標準電波を受信することにより、時刻を修正しますので、電波の受信しやすい部屋の窓際などでお使いください。



このほかの使用場所の条件などは、「ご使用場所の注意」をお読みください。

## 電波を受信しにくい環境について

次のような場所では受信できない場合や誤った時刻を表示することがあります。

- ビルの地下など
- 高圧線、テレビ塔、電車の架橋近く
- 金属製の雨戸やブラインドの近く
- 家電製品やOA機器の近く、又はスチール机等の金属製家具の上や近く
- 工事現場、空港の近くや交通量の多い所など電波障害の起きる所
- 朝夕の時間帯、雨天のとき

# ご使用上の注意

ここに示した注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。

表示内容を見逃して、誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、下記の表示で区分して説明しています。

- 警告** この表示は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
- 注意** この表示は、「傷害を負う可能性または物的傷害のみが発生する可能性が想定される」内容です。
- 禁止** この表示は、してはけない「禁止」内容です。
- 強制** この表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

小さな部品や小形の電池(ボタン形、コイン形および単4形、単5形など)は、幼児の手の届く所に置かないでください。万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。

**分解禁止** 分解したり改造しないでください。故障の原因になります。

**注意** 時計は精密機器です。落としたりして衝撃を与えないでください。故障や破損の原因になります。

# ご使用場所の注意

下記のような場所では使わないでください。機械やケース、電池の品質が低下し、精度不良や時計、電池の寿命が短くなります。

- 温度が+50℃(50度)以上になる所。例えば、長時間直射日光のあたる所。暖房器具等の熱風や火気に近い所。
- 温度が-10℃(氷点下10度)以下になる所。(プラスチックの部品や電池の劣化が起きることがあります。)
- 浴室など、湿気の多い所。
- ほこりが多く発生する場所。(空気中のちり等が機械部にたまって、時計が止まる場合があります。)
- テレビ・OA機器・オーディオのそばなど強い磁気が発生する所。(磁力の影響で、時計の進みや遅れが生じたり、止まる場合があります。)
- 車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。
- 温泉場など、ガスの発生する所。
- 多くの油を使用する所。(霧状になった油分がケースや機械部に付着し、汚れや止まりの原因になります。)
- プラスチック製の時計の場合、軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接ふれさせておくと、相互に色移りしたり、付着することがあります。

# お手入れについて

長くご愛用いただくために、2~3年に一度の点検・調整(有料)をおすすめします。販売店にご相談ください。

- 汚れがひどい時は、水でうすめた中性洗剤や石けん水を、やわらかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。
- ケースなどのよごれ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。
- 時計を掛けたとき、静電気により時計および壁が汚れることがありますので定期的に掃除をしてください。

# 電池一般について

電池の使い方を間違えると、発熱、破裂の危険や液もれにより人体や時計周りを傷めることがあります。

- +(プラス)、-(マイナス)を逆に入れてください。
- 指定された新しい電池を使用してください。
- 古い電池と新しい電池、種類の異なる電池の混用をしないでください。
- 使い切った電池は速やかに取り出してください。
- 長期間使用しない場合は、電池を取り出してください。
- 電池交換時は、電池と時計の端子(接触部)の汚れを落としてから入れてください。

# アルカリ電池について

- 電池からもれた液が眼に入った場合は、失明するおそれがありますのですぐにきれいな水で洗い、医師の治療を受けてください。また、皮膚や衣服に付着した場合は、水で洗い流してください。
- ショート、分解、加熱、火に入れるなどしないでください。液もれ、発熱、破裂の原因になります。

# 製品仕様

## 自動受信による時刻修正回数について

標準電波を受信する回数は、最少1日1回から最多1日12回まで受信状況により変化します。

	受信回数
● 受信成功から72時間以内の場合	最少 1回/日 最多 3回/日
● 連続72時間以上受信に失敗している場合 ● 初めから受信に失敗している場合 ● 手動で時刻合わせをした場合	12回/日

時間精度	標準電波の受信に成功した場合の表示精度(受信直後) 秒針 ±1秒以内 時計/分針 目盛りに対して±3度 標準電波を受信できなかった場合 平均月差 ±20秒(常温でのクォーツ精度)
使用温度範囲	-10℃~+50℃
使用電池	1.5V単3形アルカリ乾電池(JIS規格LR6) 2本
電池寿命	約2年間
その他	電波受信確認用ランプ(LED)、電波受信停止機能、 明暗センサー、スリープモニター、電池交換時期お知らせ機能

- 付属の電池は、工場出荷時に入れてありますので、電池寿命が製品仕様より短い場合があります。
- 電池寿命は、電波を正常に受信して明暗センサーにより、1日7時間、秒針が停止しているときのものです。
- 製品仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

# CITIZEN

# 電波時計

(掛・置兼用時計)

# 取扱説明書

～ 製品の特長 ～

標準電波を受信して自動的に時刻を合わせます

滑らかに動く秒針

暗くなると秒針が止まります

電池の交換時期をお知らせします

お買い上げありがとうございます。

○ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

○この取扱説明書はお手元に保管し、必要に応じてご覧ください。

取扱説明書番号 M257-CXXZ

CITIZEN はシチズン時計株式会社の登録商標です。

# アフターサービスについて

この時計のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。次の記載事項と保証書をよくお読みの上、ご利用ください。

●修理部品の保有について  
この時計の修理用性能部品(電子回路等)は製造打ち切り後、7年間を基準に保有しています。ただし、外装部品(ケース・文字板等)の修理には、類似の代替品を使用させていただくこともあります。

●修理可能期間について  
無料保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有料修理が可能です。ただし、修理には販売店と修理工場の往復運賃・諸掛り費用も加わり、商品により修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。

●転居または贈答品の場合  
転居または遠隔地からの贈答品で、お買い上げ販売店でのアフターサービスが受けられない場合は、お客様相談室にご相談ください。(保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。)

## お問い合わせ先

お買い上げ製品に関するお問い合わせの際は、時計裏面などに表示してあります製品番号(型番)をお伝えください。

例 8MY000

■お客様相談室 フリーダイヤル ☎0120-557-005

受付時間 9:00 ~ 17:45

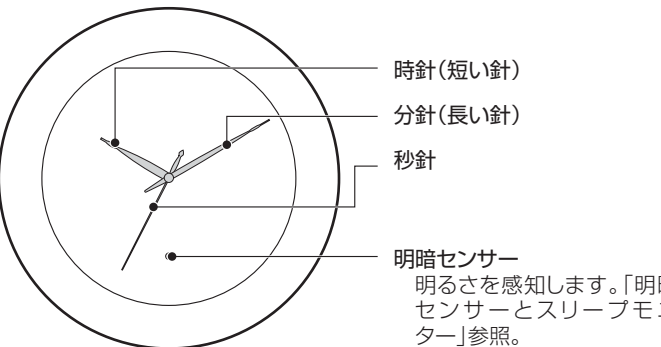
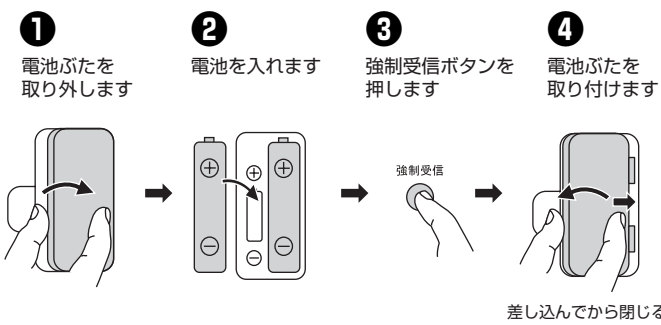
(土日、祝日および当社休日を除く)

発売元 **リズム時計工業株式会社**

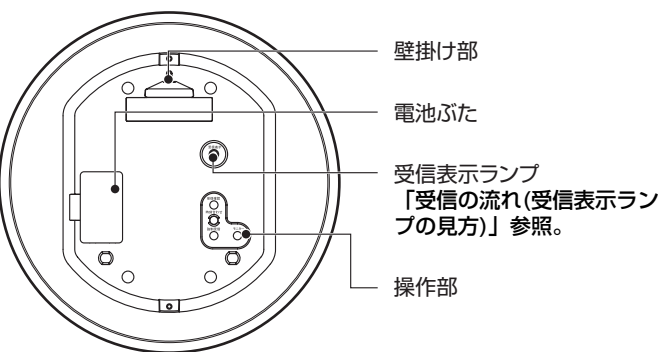
本社 ☎330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番12  
http://www.rhythm.co.jp

# 1. 時刻を合わせます

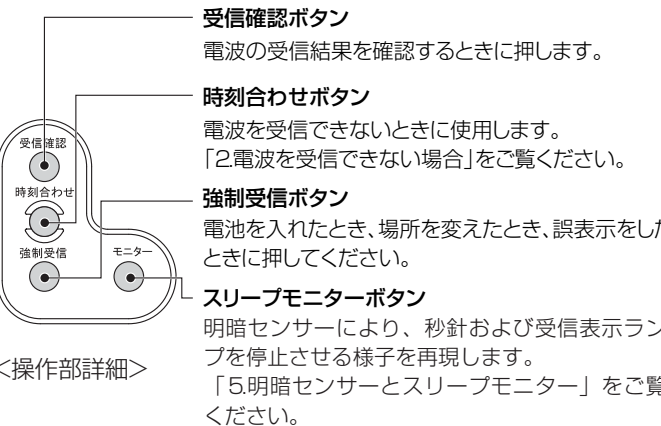
●図は操作説明用ですので、実際の商品とはデザインなどが異なることがあります。



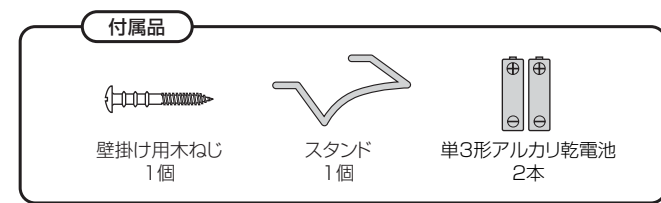
〈正面〉



〈裏面〉



〈操作部詳細〉



## 1 裏面の電池ふたを取り外します

## 2 電池を入れます

電池ホルダーの⊕⊖表示に合わせて単3形アルカリ乾電池を入れます。電池の向きを逆にすると動きません。  
※電池を交換するときは、すべて指定の新しい電池を入れてください。

## 3 強制受信ボタンを押します

○時計、分針が停止したり逆方向に動いたりしますが、これは時刻を早く合わせるためですので、故障ではありません。  
○受信状態となり、受信表示ランプが点灯し、その後点滅します。受信には最長15分程度の時間がかかります。受信終了後、時計・分針・秒針が時刻を指します。  
別項「[受信の流れ\(受信表示ランプの見方\)](#)」参照。  
※受信中は、ボタン類を操作しないでください。

## 4 電池ふたを取り付けます

## 5 時計を掛けて、受信が終了するまで待ちます

時計をご使用になるところに設置してください。  
掛けてご使用になる場合:「[掛けて使用する場合](#)」参照  
置いてご使用になる場合:「[置いて使用する場合](#)」参照  
※時計の設置場所は、裏面の「[ご使用場所について](#)」をお読みの上お決めください。

## 6 受信結果を確認します

時計裏面の受信確認ボタンを押します。  
**受信成功:**受信表示ランプが5秒間点灯  
⇒そのまま設置してご使用ください。  
**受信失敗:**受信表示ランプが5秒間点滅  
⇒「[2電波を受信できない場合](#)」を参照。  
※受信確認ボタンを押さないのに受信表示ランプが1秒間隔で点滅しているときは、受信が終わっていません。  
※受信に失敗した場合、表示されている時刻は正しくありません。  
※受信に成功しても時刻が正しくないときは、ノイズが原因と考えられますので、設置場所を変えて強制受信ボタンを押してください。

### 時計・分針の動きについて

○電波の受信を開始すると、順方向または逆方向に早送りしたり、停止しながら時刻を示します。  
○手動で時刻合わせをするときは、順方向にのみ動きます。  
○通常は10秒ごとに時刻を表示します。

### 秒針の動きについて

○秒針は順方向に通常の速さで動きます。  
○時刻合わせなどで秒針が停止している状態から動き出すまで最長60秒待つことがあります。

# 2. 電波を受信できない場合

## ●場所を変える

電波の受信しやすい窓ぎわや、電波の送信所(取扱説明書の日本地図を参考)に、なるべく時計の正面または裏面が向くような所を選び、強制受信ボタンを押してください。  
設置場所を決める前に、裏面の「[ご使用場所について](#)」をお読みください。

## ●朝までそのまましておく

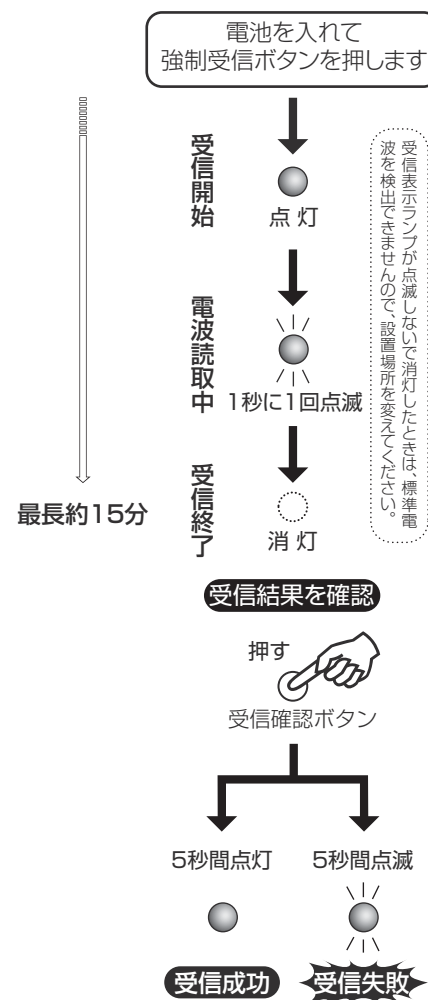
夜間は一般的に電波状態が良くなるので、手動で時刻合わせをして一晩そのままにしておく受信できる可能性が高くなります。1~2日後に受信結果を確認してください。

**受信できない場合は、手動で時刻合わせをすることができます。**

## 手動で時刻合わせをする方法

時刻合わせボタンを操作することにより、手動で時刻を合わせることができます。  
※時刻合わせボタンを離しているのに、針が早送りで動いている場合は、通常の針の動きになってから操作をしてください。  
※電波受信機能が「ON」の場合、手動で時刻合わせをしても、受信に成功すると自動的に時刻は修正されます。  
**時刻合わせボタンを押すと、時計・分針が動き始めます。**  
○時刻合わせボタンを押して、すぐに離れた場合は1分進みます。  
○時刻合わせボタンを押し続けた場合は、早送りで動きます。  
秒針の動きについて  
時刻合わせボタンを押したところで停止し、時刻合わせボタンが離れたときから最長で60秒後に動き出します。

### 受信の流れ(受信表示ランプの見方)



# 3. 電波受信機能のON/OFF操作

ノイズにより誤受信しやすいところでご使用になる場合や意図的に時間をずらしてお使いになるときは、標準電波の受信をしないようにすることができます。このときの時間精度はクォーツ精度になります。

## 電波受信の停止方法(OFFにするには)

①スリープモニターボタンを押し続けながら強制受信ボタンを押してすぐ離し、その後にスリープモニターボタンを離します。  
→時分針が早送りで動いた後、元の時刻表示に戻ります。  
②時刻合わせボタンを押して手動で時刻を合わせます。  
※電波受信を停止した状態で、強制受信ボタンを押すと針が早送り動いたりしますが、受信をせずに時刻の表示に戻ります。

## 電波受信の再開方法(ONにするには)

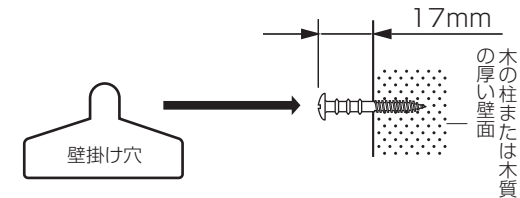
①時刻合わせボタンを押し続けながら、強制受信ボタンを押してすぐ離し、その後に時刻合わせボタンを離します。  
→操作が正しく行われると、受信表示ランプが短い間隔で点滅を開始し、時計と分針が早送り動き出します。  
②強制受信ボタンを押してください。  
→受信を開始します。  
※①の操作をして受信表示ランプが短い間隔で点滅したあとは必ず強制受信ボタンを押してください。押さない場合、針が12時位置に停止したままになります。  
※電波受信を停止させていた場合、電池を抜いてもすぐには解除されません。電池を抜いて5分以上たってから電池を入れ、強制受信を押すと受信を再開します。

# 掛けて使用する場合

⚠ 地震などの振動で落下する危険がありますので、時計を確実に掛けてください。

## 木の柱または木質の厚い壁面の場合

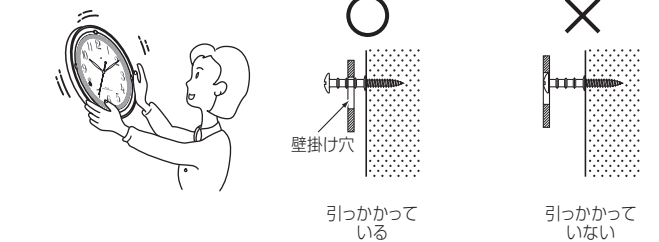
- 付属の木ねじが使用できる場所は、木の柱または木質の厚い壁面です。
- 木ねじは下図の通り、壁面にしっかりねじ込んで固定してください。



- 上記以外の場所(コンクリートなどの壁面)に掛ける場合は、壁の材質・構造と時計の重量に合った、市販の掛具をご使用ください。その際、両面テープ式や吸盤式は時計が落下する危険がありますので、使用しないでください。

## 時計の掛け方が不適切な場合、時計が落下する危険があります。

- 時計を掛けた時は、上下、左右に軽く動かして、確実に掛かっていることを確認してください。



# 4. 電池交換時期お知らせ機能

電池の交換時期になりますと、明るいところでも、秒針が12時位置で停止します。この間も時計・分針は正常に動いています。十分に時計の周囲が明るいところで、このような状態になりましたらお早めにすべての電池を新しいものに交換してください。そのまま放置した場合、時間違いや誤作動の原因になります。また、電池からの液もれにより、時計の故障、壁や家具などに損害を発生する恐れがあります。  
※電池寿命が残り約1カ月のときから機能します。(ご使用状態により期間が前後します。)  
※この時計はアルカリ乾電池の特性に合わせて設計されているため、松下電池工業株式会社製「オキシライド乾電池」は適していません。ご使用になった場合、時計が正常に動作しない、電池の寿命が短くなるなどの不具合が生じることがあります。

# 5. 明暗センサーとスリープモニター

時計周囲の明るさを感知するセンサーが付いています。これにより、暗くなると秒針の動きを停止させます。このセンサーは、時計を設置した場所の明るさで動くため、昼間や夜間照明時でも設置場所の光量不足により、センサーが動くことがあります。

スリープモニターボタンは、上記の明暗センサーの動きを見たいときに使用します。秒針が12時の位置に近づきましたら、このボタンを押し続けてください。秒針が12時位置で停止します。ボタンを離すと元の状態に戻ります。秒針が動き出すまでには、最長で60秒かかります。

# 置いて使用する場合

- 付属のスタンドを、下図のように時計本体にしっかり差し込みます。
- 掛けて使用するときは必ずスタンドを取り外してください。
- 転倒しないように、水平で振動の少ないところに置いてください。

